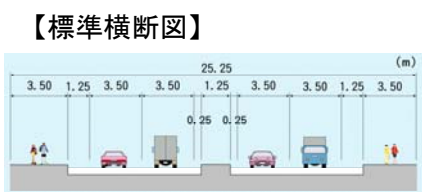


## 再評価結果（平成19年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課  
担当課長名：木村 昌司

<b>事業名</b> 一般国道208号 <small>たまな</small> 玉名バイパス	<b>事業区分</b> 一般国道	<b>事業主体</b> 国土交通省 九州地方整備局
<b>起終点</b> 自： <small>たまなしてらだあざえのきはる</small> 玉名市寺田字榎原 至： <small>たまなしたいめいまちひらきだ</small> 玉名市岱明町開田	<b>延長</b> 8.5 km	
<b>事業概要</b> 玉名市街地及び周辺地域の交通渋滞解消と交通安全の確保を図るとともに、各種地域プロジェクトを支援し、地域経済活性化に大きく寄与する道路である。		
S49年度事業化	S57年度都市計画決定 (H 年度変更)	S61年度用地着手
<b>全体事業費</b> 388億円		<b>事業進捗率</b> 61%
<b>計画交通量</b> 24,900台/日		<b>供用済延長</b> 2.3km(2/4)
<b>費用対効果分析結果</b>	<b>B/C</b> (事業全体) 1.6 (残事業) 5.3	<b>総費用</b> (残事業)/ (事業全体) 131/ 447億円 (事業費：94/ 410億円) (維持管理費：37/ 37億円)
<b>総便益</b> (残事業)/ (事業全体) 689/ 693億円 (走行時間短縮便益：650/ 659億円) (走行費用減少便益：26/ 27億円) (交通事故減少便益：13/ 7億円)		<b>基準年</b> 平成18年
<b>事業の効果等</b> ・新幹線駅へのアクセス向上が見込まれる(九州新幹線新玉名駅(仮称)H23春全線開通) ・三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる(荒尾市、長洲町から熊本赤十字病院間の所要時間短縮) <span style="float: right;">他5項目該当</span>		
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> ・玉名バイパス建設促進期成会(会長：玉名市長)の活動がなされており、近年ではH16.6月、H17.7月、H18.5月に玉名バイパス整備促進期成会総会が開催され、早期整備要望を受けている。		
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> ・沿線の市町村合併(玉名市、岱明町、横島町、天水町)、沿線人口の高齢化率の高まり(岱明26%、県24%)、沿線地域の1次産業就業の減少・3次産業就業の増加、自動車保有・免許保有者の増加		
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> ・事業費ベース：61% (H17末進捗/全体事業=236億円/388億円) ・用地進捗率：64% (H17末進捗/全体事業=49億円/76億円)		
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> ・用地買収を促進するとともに、本年度は1工区新玉名大橋上部工の完成を目指し、引き続き関係機関及び地権者等と協議を進め、未供用区間の早期供用に向け整備を推進。		
<b>施設の構造や工法の変更等</b> ・2工区交差形式見直し(立体⇒平面)や1工区新玉名大橋の基礎形式検討、発生土の工区内利用等着実なコスト縮減を図り、事業の時間的コストの低減に向け、計画的・重点的整備により効率性の向上を図る。		
<b>対応方針</b> 事業継続		
<b>対応方針決定の理由</b> ・以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。		
<b>事業概要図</b>		



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。